

日暮里・舎人ライナー

日暮里・舎人ライナーは、荒川区の日暮里と足立区の舎人地区9.7kmを結ぶ新交通システムです。

建設に際しては、インフラ部（支柱、軌道桁、駅の主要構造物など）を、ルートに当たる尾久橋通りの整備と併せて東京都建設局が担当、インフラ外部（車両や電気施設等）を、東京都地下鉄建設（株）が担当し、平成9年12月に工事着手しました。交通局は、平成19年10月1日に国から軌道法に基づく軌道事業譲渡許可を受けて運営することとし、平成20年3月30日に開業しました。

令和6年度は一日平均約9万5千人のお客様にご利用いただきました。

この路線の開業により、沿線地域の交通アクセスは飛躍的に向上し、今後も道路渋滞の緩和や沿線地域の活性化が期待されています。

（注）都営地下鉄大江戸線環状部の建設を行った東京都の第三セクター



▲330形車両

日暮里・舎人ライナー路線図

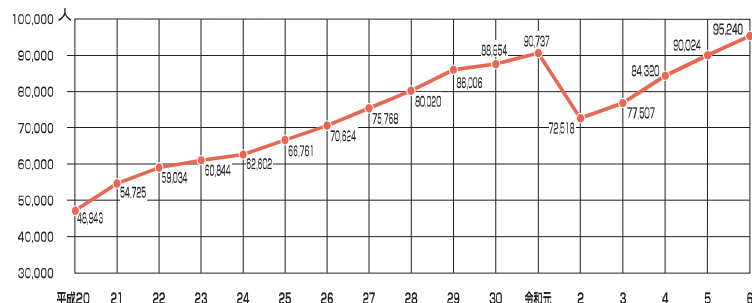


日暮里・舎人ライナーの概要

令和7年4月1日現在

線区	営業区間	日暮里(荒川区)～見沼代親水公園(足立区)
	営業キロ	9.7 km(全線高架複線)
	駅数	13駅
車両	輸送システム	側方案内軌条式新交通システム(コンピュータ制御による自動運転)
	(内訳)	300形・40両(5両×8編成)
		320形・5両(5両×1編成)
		330形・55両(5両×11編成)
	定員	245人/編成(300形) 259人/編成(320形) 262人/編成(330形)
規格	電気方式	三相交流600V
	最短運転間隔	3分14秒
運転	表定速度	上り27.7km/h 下り27.9km/h
	最高速度	60km/h
	運転所要時分	約20分

日暮里・舎人ライナーの乗車人員の推移(一日平均)



令和6年度一日平均乗降人員

単位:人

駅名	乗車	降車
日暮里	27,809	27,601
西日暮里	16,213	17,267
赤土小学校前	2,888	2,742
熊野前	4,781	4,609
足立小台	1,847	1,838
扇大橋	5,370	5,293
高野	3,350	3,284
江北	6,508	6,450
西新井大師西	6,215	6,190
谷在家	5,582	5,482
舎人公園	2,888	2,841
舎人	4,786	4,756
見沼代親水公園	7,003	6,886
日暮里・舎人ライナー計	95,241	95,241

(注) 駅別乗降人員の一日平均は、端数未調整である。

〈安全・安心の確保〉

◆列車運行管理と駅構内の監視◆

日暮里・舎人ライナーはコンピュータ制御による自動運転を行っています。列車の運行管理や駅の安全監視などは全て指令室で係員が行っています。



▲指令室

◆ATO・ATC

安全な運行を確保するための保安装置として、「出発～次駅での停止～ドアの開閉」をコンピュータ制御で行う機能を備えた自動列車運転装置(ATO : Automatic Train Operation)を導入しています。

また、制限速度を上回ったときに自動的にブレーキをかける自動列車制御装置(ATC : Automatic Train Control)も導入しています。

◆安全確保のための保安設備◆

◆非常通報器

車内で異常が発生したときにお客様から係員に通報できるよう、全ての車両に非常通報器を設置しています。

◆非常停止ボタン

非常時にお客様が列車を停止させることができるよう、全ての車両に非常停止ボタンを設置しています。



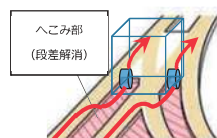
▲非常通報器と非常停止ボタン

◆車内放送装置◆

非常時にお客様に音声情報を伝達できるよう、すべての車両に放送装置を設置しています(通常時は停車駅や乗り換えのご案内等を自動で放送しています。)

◆地震発生時の被害軽減策◆

脱輪のおそれがある走行路の分岐部において、“へこみ部”の段差を解消する部材を設置しています。



▲段差解消の一例 (イメージ)

◆ホームでの安全対策◆

◆ホームドア

お客様の列車との接触や軌道への転落防止対策及び防風対策として、全駅にホームドアを設置しています。

◆視覚障害者誘導用ブロック

目の不自由なお客様のための視覚障害者誘導用ブロックを全駅に設置しています。

◆自動火災報知設備ほか

駅構内で火災が発生した場合に備え、自動火災報知設備、消火器のほか、消防隊が消防ポンプ車と連結し、消火活動ができるよう、連結送水管設備を全駅に設置しています。

◆非常扉

火災等の非常時には、ホーム階から二方向避難として、階段とともにホーム端部にある非常扉から避難するルートを全駅に確保しています。



▲ホームドアと視覚障害者誘導用ブロック



▲自動火災報知設備、消火器、連結送水管設備



▲非常扉

◆各種訓練◆

大規模地震などの異常時の際、的確な避難誘導・復旧作業を行えるよう、警察・消防と連携し各種訓練を実施しています。



▲避難誘導訓練



▲異常時総合訓練

◆テロ対策・防犯対策◆

迷惑行為や痴漢等犯罪の未然防止、テロ対策などセキュリティ強化を図るため、車両の更新に合わせて車内への防犯カメラの設置を進めています。

330形防犯カメラ▶



◆雪害対策◆

◆ロードヒーターほか

走行路面の雪害対策として、勾配の急な路面や車庫からの出庫線の一部にロードヒーターを設置しています。また、状況に応じて凍結防止剤や融雪剤を散布しています。

◆除雪用ブラシほか

車両の雪害対策として、全編成に除雪用ブラシを装着しています。また、平成29年度から霜取り装置の設置を開始し、現在は合計6編成に設置しています。

〈輸送サービスの充実〉

◆PASMO(パスモ)◆

日暮里・舎人ライナー全駅でPASMOがご利用いただけます。(PASMOについてはP.8を参照)

PASMO対応自動改札機▶



◆列車運行情報表示装置◆

全駅の改札口付近にディスプレイを設置し、列車の遅れ等の運行情報をすみやかに提供しています。

改札口ディスプレイ▶



◆ToKoPo(トコポ)◆

PASMOを活用したポイントサービス「ToKoPo(トコポ)」が利用いただけます。(「ToKoPo(トコポ)」については、P.8を参照)

◆TOEIスマート定期券予約◆

日暮里・舎人ライナーの定期購入にあたっては、「TOEIスマート定期券予約」をご利用いただけます。(「TOEIスマート定期券予約」についてはP.8を参照)

◆案内表示器◆

列車の行先や時刻、接近情報やご案内などを表示しています。

案内表示器▶



〈ひとにやさしい日暮里・舎人ライナー〉

◆駅のバリアフリー化◆

◆エレベーター・エスカレーター

全駅に「地上と改札階」「改札階とホーム階」を結ぶエレベーター及び上り用エスカレーターを設置しています(日暮里・西日暮里・熊野前駅の一部には、下り用エスカレーターを併設)。



▲エレベーター・エスカレーター

◆トイレ

全駅にご高齢の方、お身体の不自由な方や乳幼児をお連れの方などが利用しやすいよう、スペースを広くし、手すり、おむつ交換台、オストメイトの洗浄器具などを備えたトイレを設置しています。



▲車椅子利用者対応トイレ

◆カメラ付インターホン

聴覚に障害のあるお客様への対応として、指令区の係員と筆談ができるよう、令和2年2月から無人駅にカメラ及びモニター付きインターホンを設置しています。

カメラ付インターホン▶



◆AEDの設置◆

お客様が急に心停止状態等になられた場合に対応するため、全駅にAED(自動体外式除細動器)を設置しています。

また、全ての駅係員が救命救急講習を受講しています。



▲AED(赤土小学校前駅)

◆車両のバリアフリー化◆

◆フリースペース

車いすをご使用のお客様、ベビーカーをご利用のお客様、大きなお荷物をお持ちのお客様等にご利用いただけるフリースペースを全ての編成に設置しています。一部の編成は全車にフリースペースを設置しています。



▲フリースペース

◆車内点字シール

全ての車両の各ドアに、号車及びドア番号を示す車内点字シールを貼付しています。



▲車内点字シール

◆車内表示器

お客様に文字情報を伝達できるよう、全ての車両にLCDやLEDによる車内表示器を設置しています。



▲LCD車内表示器

◆低い吊り手

一部の車両に「低い吊り手」を設置しています。



▲低い吊り手

〈環境にやさしい日暮里・舎人ライナー〉

◆電力回生システム◆

列車の走行に使うモーターをブレーキ時に発電機として動作させ、発電した電力を電車線に戻して他の列車の走行に利用するほか、変電所に送電して駅の照明などに利用する「電力回生システム」を全ての列車に装備しています。

◆省エネルギー車両◆

全ての車両で、省エネルギー効果の高いVVVF制御を採用しています。



▲330形車両